



おくりもの

おたん^{じょうび}生日や母の日、父の日、クリスマス、バレンタインなどイベントにあ^あ合わせておくりもの（プレゼント）をしたり、もらったりするとドキドキワクワクしますね。おくりものには、おもちゃやケーキばかりではなく、歌^{うた}やことばのおくりものもあります。

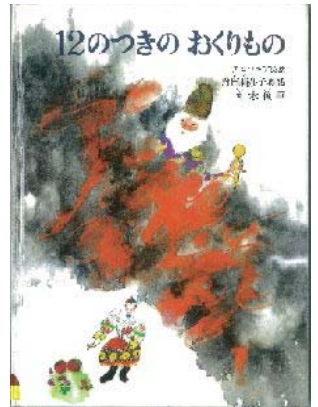
いろいろなかたちの「おくりもの」について考^{かんが}えてみませんか？



『12のつきのおくりもの』

スロバキア民話 内田莉莎子/再話 丸木俊/画 (福音館書店)

ママ^{はは}母とそのむすめホレーナと三人^{さんにん}でくらしていたマルーシカは、よくはたらく^{うつく}美しいむすめでした。ママ^{はは}母たちはそんなマルーシカがにくらしく、ある寒い冬^{さむ ふゆ ひ}の日に、スマレをとってこいと森へおいやっ^{ゆき}てしまいます。雪の中をさまよううち、森^{もり}のおくでたき火^びをかこんでいる十二^{じゅうに}の月のせい^{つき}にたち^{なか}にであ^あか^{かれ}れ^{いったいなん}ん^ん出会^いいます。彼らがマルーシカにあげたおくりものとは一体何^{なに}でしょうか。



アップとヤネケ
シンタクラスが
やってくる！

アニー・M・G・シュミット/作
フィーブ・ヴェステンドルフ/絵
西村由美/訳

(岩波書店)



こねこのチョコレート

B・K・ウィルソン/作
小林いづみ/訳
大社玲子/絵

(こぐま社)



**やっかいなおくりもの
(ごきげんすてご2)**
いとう ひろし／さく
(徳間書店)



五か月前、あたしに弟が生まれました。弟なんて、おさるみたい。それなのに、みんなが「かわいい弟がいて幸せね」って言います。幸せはほかの人にも分けてあげなきゃ。そこで、あたしは弟をだれかにプレゼントしようと出かけました。このおくりものをもって幸せになるのは、だれかな？



**世界でいちばん
やかましい音**
ベンジャミン・エルキン／作
松岡 享子／訳
太田 大八／絵
(こぐま社)

むかしむかし、ガヤガヤの都は世界でいちばんやかましいところでした。ある年、この国の王子がたんじょうびのおくりものにえらんだのは、世界で一番やかましい音でした。そこで世界中の人たちが、このおくりものにきょうりやくすることになりました。さて王子をよろこばせることはできたのでしょうか。



里山のおくりもの
今森 光彦／写真・文
(世界文化社)



**贈ってうれしい
チョコレートスイーツ**
宮沢 うらら／著
(汐文社)



ラッピングやカード作りの本もあるよ！



台所のマリアさま
ルーマー・ゴッテン／作
猪熊 葉子／訳
C. パーカー／絵
(評論社)

マルタは生まれた国をとおくはなれ、グレゴリー少年の家でお手つだいをしています。マルタのこきょうでは、台所にマリアさまの絵をかざったとくべつな場所がありました。それがない台所はからっぽな気がします。悲しむマルタのために、グレゴリーはマリアさまの絵を自分で作ってあげようと決めました。



賢者のおくりもの
オー・ヘンリー／文
リスベート・ツヴェルガー／画
矢川 澄子／訳
(富山房)

まずしいふうふのデラとジムは、美しいかみの毛と金時計がじまんでした。クリスマスの前日、デラは自分の美しいかみの毛を売って、ジムの金時計にふさわしいくさりを買いました。ジムもデラにプレゼントを用意していました。二人はどんなクリスマスをむかえたのでしょうか？